

今月の Pick Up

編集室がピックアップした旬な話題をお届け！
詳しくは各ホームページをご覧ください。

01 高知市役所で一緒に働く仲間(市職員)を大募集



令和5年度高知市職員採用資格試験(上期)を行います。詳しくは、5月9日(火)から人事課HPに掲載される試験案内をご覧ください。

申込期間 ▶ 5月9日(火)~25日(木)

1次試験 ▶ 6月17日(土)・18日(日)

高知市職員/職種7ゲーム風ニ解説
シマステス。新タナ人財求ム。



【問い合わせ先】人事課 ☎ 823-9410

■ ジムショック(事務職)

さまざまな業務が存在するが、主にパソコンを使い、窓口で対応することが多い。ほかにも防災、まちづくりなど住民と一緒に活動する業務も存在する。



■ ギジツツショック(技術職)

ジムショックと同じくさまざまな業務があるが、「ドボク」や「ケンチク」など、まちづくりに携わることが多い。最近ドボクが不足しているらしい。



■ ロームショック(労務職)

大きくは調理等と清掃等に分かれる。調理等は学校や保育園等での調理。清掃等はごみ収集や学校用務、清掃工場・アニマルランドなどでの業務がある。



■ ソノホカ

「ホケンシ」「シャカイフクシシ」「ホイクシ」などの職種も…。それぞれの業務内容はこの2次元バーコードを読み込むのじゃ。



02 企業向けまちづくり相談窓口を開設しました



市では、市民・事業者・NPO・行政による協働のまちづくりを推進しています。各事業者が持つ資源(ヒト・モノ・コト)と、行政が持つ地域情報やネットワークを掛け合わせて、まちづくりに取り組んでみませんか。

私たちは事業者の皆さんと地域をつなぐ「まちづくりサポーター」です。



企業向けまちづくり相談窓口

「地域貢献したいけど、どんなことをすればいいかわからない…」—大丈夫、お気軽にご相談ください。

【問い合わせ先】
地域共生社会推進課 ☎ 821-6513 または
地域コミュニティ推進課 ☎ 823-9080

企業が提供できること

専門分野を生かして貢献したい

会社が通学路に面している

大きな駐車場がある

地域の課題(ニーズ)

住民の集いで講座を開いてほしい

子どもの見守りをしてほしい

お祭りのときに駐車場を貸してほしい



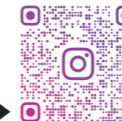
昭和51年の開設以来初めてとなる大規模なリニューアルが行われ、3月29日にオープンしました。高知城を眺めながら、お弁当を食べたり、散歩したりしてみませんか。

DATE ■ 2023/4/3
PLACE ■ 丸ノ内緑地

高知市の SNS

高知市観光Instagram
[@kochicity_travel]

登録はこちらから▶



高知市の魅力を伝えるInstagramアカウントです。おすすめスポットや食など、有名なものから観光パンフレットには載らないような情報まで、多彩な観光情報を投稿しています。高知市を旅する人だけではなく、地元の方にとっても新たな発見があるかもしれません。ぜひフォローしてみてください。

高知市の人口と世帯

令和5年4月1日現在

人口(前月比) ▶ 31万7,639人(-1,372人)

男 14万8,479人(-653人)

女 16万9,160人(-719人)

増加 出生153人 転入等1,925人

減少 死亡380人 転出等3,070人

世帯(前月比) ▶ 16万4,077世帯(-89世帯)

増加 転入1,161世帯 その他237世帯

減少 転出1,166世帯 その他321世帯

おらんく家の元☆気人! Vol.2

格闘技を通して見る高知の未来



profile >>> 戸田 明 Akira Toda (65)

高知県出身。南四国浄管代表取締役社長として多数の事業を手掛ける。自社2階にある「The CAMP フィットネススタジオ」ではトレーナーとして空手やムエタイの指導にも当たっている。

「多くの外国人に高知に来てもらいたい」—柔らかい笑顔でそう話すのは、The CAMP フィットネススタジオ代表の戸田明さん。戸田さんは、「格闘技を通して高知のグローバル化をめざしたい」と言います。

そんな戸田さんのジムには、以前から外国人コーチが英語で指導する空手のクラスがあります。その背景には、「外国人に接した経験がないと、話し掛けられたらどうしようかと、内向きになってしまう。まずは接する機会を増やして、同じ人間同士、輪を広げていきたい」という思いがあるのだそう。また同時に、「行政だけでなく、自分たち地域住民も協力して動くことが重要」とも考え

ています。

同じくジムで指導している「ムエタイ」は、タイ王国の国技。特にタイ第二の都市チェンマイでは、長期滞在をして、パソコン一つで仕事をしながらムエタイを楽しむ人たちが世界各国からやって来ます。戸田さんが高知の未来に思い描くのは、そんな姿なのです。

格闘技を通して国際交流を進めることをめざす戸田さんは、自身のことを「じっとしているのが嫌いなタイプ」と話します。戸田さんの挑戦は、まだまだ続きます。

▶ムエタイのキックを受ける戸田さん(左)

